

「一市一まちづくり」 これまでの進捗状況 及び 平成 23 年度取組予定 一覧

地域	テーマ	平成22年度 進捗状況	平成23年度 進捗状況 及び 取組予定
大和高田市 近鉄高田市駅（片塩商店街） 周辺～ＪＲ高田駅・近鉄大和 高田駅周辺～高田川周辺	中心市街地（片塩商店街地区など）の賑わい創出・車にたよらないで暮らせる環境まちづくり	○中心市街地の循環バスやコミュニティサイクルのシステムの立ち上げ、周遊歩行空間の整備に向けた基礎調査（現行バスの活用状況、コミュニティ・サイクルのニーズ、来街者の来街先の調査等）を終了（協議会を３回実施）	○中心市街地の循環バスのルート・運営手法の検討 ○コミュニティサイクルの仕組み構築・社会実験の実施 ○周遊歩行空間整備（ベンチ、案内板、沿道商店街のしつらえ・花等）の内容検討 ○これらと連携した商店街など民間の活動内容の検討 → これらを内容とした「まちづくり計画」作成へ
大和郡山市 城下町を中心としたエリア	城下町の観光と暮らしを支えるまちづくり	○県と市とで、城下町の課題を整理し、問題意識とまちづくりの方向性を共有化	○点在する観光拠点の動線をつなぐよう案内看板のルートを設定（ワークショップを立ち上げ、城下町のまち歩きを実施） ○近鉄郡山駅から JR 郡山駅を結ぶ動線の県道で、歩行空間の整備を検討、実施（バリアフリー基本構想協議会を立ち上げ、まち歩きにより点検を実施） ○自転車の活用方法の検討（広域乗り捨てレンタサイクル社会実験を実施中）
天理市・桜井市 JR 長柄駅～柳本駅～巻向駅 周辺	山の辺の道周辺の史跡や農村資源を活用した賑わいある農村づくり	○地域参画のきっかけづくりの実施 ・各集落でのワークショップ（延べ 10 回実施）、協議会により、組織体制を整備 ・協議会では、都市農村交流による地域の活性化策（棚田オーナー制度）を検討 ・都市農村交流活動として棚田ボランティアによる棚田の柿園復園作業）を実施（協議会を 1 回実施）	○協議会や交流会を通じた農村集落での活動組織体制づくり ○地域の魅力発信と新たな魅力発掘に向けた共同検討（早稲田大学連携） → 魅力ある周遊ルート設定へ ○柿収穫体験、花植え等景観保全活動、手作りジャム、米（ヒノヒカリ）の販売 → 「農山村まるごと収穫体験&ウォーク」イベントの実施 ○都市農村交流、耕作放棄地の解消（棚田、果樹のオーナー制度など）
桜井市 三輪周辺（大鳥居（国道 169 号）～ＪＲ三輪駅周辺～大神神社）	大神神社の上品な参道づくりと三輪のまちの賑わい創出	○幅広い住民が参加する「三輪まちづくり会議」（3 回実施）でまち歩きなど行い、参道やまちの課題を住民と共有し、住民のまちづくり気運を向上 ○県、市、地元からなる協議会方式の「三輪周辺まちづくり連絡会」（2 回実施）で、参道やまちの課題を関係者とも共有	○三輪のまちづくりの方向性について住民及び関係者と確認 ○魅力的な参道づくりの具体内容の検討（歩行者動線の確保、参道の修景整備） ○参道づくりと連携した住民との協働施策の検討（沿道建物の景観形成、地域資源の利活用、地域コミュニティの形成等） ※参道部会、地域コミュニティ部会を発足 → これらを内容とした「まちづくり計画」作成へ
五條市 五條ＩＣ周辺～新町周辺	五條新町を核とした賑わいのあるまちづくり	○五條ＩＣ周辺～五條新町周辺の中心市街地における、五條新町などの歴史資産や吉野川の公共空間を活用したまちづくりの取組内容などについて、まちづくり構想の中間とりまとめを作成（検討委員会を 4 回実施）	○地域をゆっくり周遊できる五條新町・吉野川を巡るルートづくり ○河川敷の利活用の方針や具体的な整備内容等、吉野川の水辺の拠点づくり → 「五條新町を核としたまちづくり構想」のとりまとめ ○歴史的な町並みや良好な景観の水辺を楽しむイベント開催や五條新町周辺のおもてなし店舗によるサービスやスタンプラリーなどの周遊社会実験の実施 → 社会実験の結果等を踏まえ、まちづくり構想の各施策に反映するとともに、まちづくり構想の具体化に向けた検討を行う
香芝市 香芝市内郊外住宅地	「住みたい」と「住み続けたい」を実感できるまちづくり	○関屋団地地域住民のまちづくりに対する意識の醸成、協議会形式によるまちづくり検討への理解促進 ・関屋団地の課題の把握（空家・空地・生活・公共交通の利便性等に関するアンケート実施） ・住民、市、県との意見交換会の実施	○住み替え支援：若年層を取り込む空家対策（JTI による住み替え支援） ○住み続ける支援：交流拠点における交流事業（朝市）の開催検討
葛城市 南阪奈道路葛城ＩＣ周辺	道の駅を核としたまちづくり ～眺めの良いレストランがあるまちづくり～	○當麻寺周辺から南阪奈道路葛城 IC 周辺地域について、「葛城市地域活性化事業検討委員会」に諮りながら、地域産業や観光の振興につながる地域連携拠点の強化、既存の資源などの利活用促進、魅力の相乗的向上に資する連携の強化を 3 つの柱に、各施策をまちづくり構想として取りまとめた。（検討委員会を 5 回開催）	○徒歩による周遊観光のおすすめルートの設定、おすすめルートのパンフレット作成 ○来訪者がわかりやすく利用しやすい誘導案内サインの検討を行い、トレッキングと日帰り入浴も含めた周遊観光の社会実験の実施 → 社会実験の結果を踏まえ、まちづくり構想の各施策に反映するとともに、まちづくり構想の具体化に向けた検討を行う
宇陀市 近鉄榛原駅周辺	宇陀の玄関口である近鉄榛原駅の交通ターミナル機能向上を核としたまちづくり	○駅前広場の案内サイン整備を実施 ○バス・タクシーの乗降施設の整備を実施（協議会を 1 回開催。宇陀市の駅前周辺整備検討委員会と連携）	○榛原駅を拠点とした自転車ネットワークの形成により、市内イベントや観光地等へのアクセス環境の創出（駅前レンタサイクルを活用） ○観光ニーズ調査及び駅前の活性化及び榛原駅を拠点とした観光ルートの検討（早稲田大学連携）